

デジタル ディスプレイ DD 200/ DD 210

PYROSPOT パイロメータ（高温計）向け

概要

デジタル ディスプレイ DD 200/ DD 210



一般情報

デジタルディスプレイ DD200 / DD 210 は、パイロメータの出力を介して温度値を表示します。そのため、ディスプレイは高温計の適切な測定範囲に合わせて比率を調整する必要があります。これは、ディスプレイのコントロールパネルを使用するか、ソフトウェア PYROSOFT Spot Pro を介して実行できます。

デジタルディスプレイは、コントロールパネル内に設置することを目的としています。付属のクランプネジを使用して、デバイスを取り付けることができます。

デバイスを操作するには、100～240 VAC の電源が必要です。

ディスプレイユニットは、測定された最大値と最小値の自動保存を提供します。確認するには（測定モードのみ使用可能）、MAX / MIN キーを使用します。

テクニカルデータ

タイプ	DD 200/ DD 210
入力	DD 200: 4 to 20 mA/ 0 ~ 20 mA ¹ DD 210: 4 to 20 mA (RS-485) ¹
補助電源	なし
電源	100 ~ 240 V AC、50/60 Hz
測定不果実性	測定値の± 0.1 % ± 1 digit
アラーム出力	2x リレー、最大 250 V AC、5 A または 30 V DC、5 A、応答時間約 250 ミリ秒
安全クラス	IP66（フロントパネル）
寸法（サイズ）	45 mm × 92 mm × 97 mm（H × W × D）
動作温度	-10 °C ~ 55 °C
保管温度	-25 °C ~ 65 °C

¹アナログ出力は、接続されているパイロメータの温度範囲内で調整できます。

詳細ビューおよび説明



LEVEL キーを 3 秒以上押すと設定メニューが開きます。

MODE キーを選択すると、それぞれのパラメータを変更できます。

現在のプリセット値が下の表示行に表示されます。

Shift キーを押すと、メニューの変更に移動します。

UP キーを押して値を変更できます。

MODE キーをもう一度押すと、値が受け入れられます。

測定モードに戻るにはレベルキーを 1 秒以上押す必要があります。